

大学院 生活科学研究科

生活科学

現代社会は、科学技術の目覚ましい発展・高度化、また急速な情報化に伴って、生活構造が多様化しています。ライフスタイルの急激な変化は、食生活をとりまく環境を大きく変化させ、人の健康に関わる問題もこれまでに以上に複雑多岐にわたっています。そして、環境の激変とともに、人間の生活居住空間をめぐる課題はますます増大しています。また、社会の成熟化とともに



に、少子高齢社会が到来した現在、人間が社会生活を営む上で発生するさまざまな生活問題に對して的確な対応がますます要請されています。さらには複雑な現代社会は、現代人の「こころの健康」維持も大きな課題となつていきます。生活科学研究科には、このような社会が直面する新たな生活問題の解明という現代社会の要請に對する専門職業人と研究者の育成を目標とするため、次の7履修コースがあります。食・健康科学コースは、「食」と「健康」に關与する先端的学術研究を行う人材を育成します。居住環境学コースは、居住問題解決のため優れた応用能力を持った人材を育成します。総合福祉科学コースは、実践を核に人間および福祉分野の学際的アプローチによって総合力を持った人材を育成します。臨床心理学コースは、「こころの病理と心理療法」の専門的知識をもった、診断と臨床実践に携わる専門家を育成します。長寿社会食生活学コースは、「食」から高齢者の健康維持を目指す人材を育成します。居住福祉工学コースは、障害者・高齢者の居住空間における安全・快適・利便を目指す人材を育成します。長寿社会福祉科学コースは、高齢者・障害者の社会的諸問題に適切な対応ができる人材を育成します。

21世紀社会を展望し、質の高い生活を創造

